

会長 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原 一夫 06-6833-9227
事務局 〒577-0054 東大阪市高井田元町1-14-2 岡本 至弘 06-6788-2796
編集室 〒586-0039 河内長野市楠ヶ丘11-18 中川 良三 0721-65-0348
HomePage担当 〒577-0054 大阪市住之江区南港中3-3-31-520 坪井 仁志 06-6613-2836

令和5年3月(2023年) No.687

通常例会の昼間開催への変更に伴い

第2例会のあり方ほか行事の見直しを行います

会長 合原一夫

4月から通常例会の昼間開催の件は、多くの方の賛同を得て、参加者も増えるとの予想が付きましました。夜の例会を敬遠されている方も来て頂けるものと考えます。そこで今までの第二例会のあり方について色々な声を聞きますので、考えたいと思います。

■ 第二例会の開催月と行事

- ① 7月第3木曜日 20日；撮影会コンテスト並びに一般作品上映
- ② 11月第3木曜日 16日；課題コンテスト並びに一般作品上映
- ③ 1月第3木曜日 18日；総会、各種表彰式並びに一般作品上映

■ 課題コン実施月5月予定を11月に変更

5月だと撮影会作品の制作と重なり、日程的にしんどいという声があるので、思い切って11月に延期、じっくり構想を練って作品を作って頂きたい。従って今年の公開映画会には課題コンからの出品は無し、来年に回すことにする。「和」の課題コン、ゆっくり、じっくり作って下さい。

■ ミニ撮影会の希望あり

第二例会の始まった頃、靱公園や御堂筋などをテーマにミニ撮影会をやったことがあるが、第二例会が減ったこともあり、今一度日帰りの撮影会をやったらどうか、という声が出ている。企画担当チームに考えて頂きたい。

■ 懐かしの映像鑑賞会の開催

コロナ禍中止中だが、今年は復活させたいものである。時期としては、発表会の少ない7月頃で、岡本副会長の世話で近鉄布施駅前のビルにあるホールが低額で借りられるので、一度テスト的にそこを使ってみようかと思っている。観客の交通の便からどれだけの人が集まってくれるか予想が難しいが、テスト的にやってみてもよいと考えている。

3月例会のお知らせ

- 第二例会；第3木曜日16日、13時より難波市民学習センターにて
- 通常例会；第4土曜日25日、18時より同上にて。夜の例会はこれで終り
桜の季節で暖かく撮影にも出かけたい気候、作品楽しみです。

90歳誕生日 居酒屋で乾杯に感謝

合原一夫

2月例会日の25日は私の90歳の誕生日でした。当月の司会役は私でしたので、そのことを司会の合間に伝えると、会員一同「おぉー！」となって、その日の二次会は、普段は喫茶組だったメンバーも行きつけの居酒屋に集まり、期せずして祝杯を頂くことになり感謝感激でした。

考えてみれば、誕生祝にお祝いをしてもらった記憶は有りません。いつの間にか年を取ってきたなという感じです。

また、90歳になっていよいよ残りの人生が少なくなってきたな—という観点から考えますと、むしろ淋しさが一層募る誕生日と言ってもおかしくありません。

幸い、私は足腰が弱まってきたし疲れやすくなったという事はあっても、まだ自分の事は自分でやれるし、行きたい所へも自由に行ける、もの書きが多いのでボケの気配（物忘れは多くなったが）も無いので、今のところ、90歳になっても先が短くなったと悩むことなど皆無です。この先どう過ごしていくか、まず、前向きに行こう、多くの知人、友人と交流を深め、会話を交わしつつ食事を共にし、楽しい生活を送ろう、やりたいことをやろう、人に役立つこと、やることに生甲斐を感じよう・・・。

という事で残りの人生を充実した一日一日を、大切にしていきたいと思います。そのために体力を出来るだけ維持していくために毎日運動を続けています。

一日7000歩を目安に歩いています。どうも歩幅が小さくなってきたようなので、意識して大きくして歩くようにしています。我がマンションの老人会の毎週一回の健康体操、のどの健康保持の為のカラオケの楽しみ、栄養バランスを考えた食事等々。人生の生き方にこれからも注意して、前向きに過ごしていきたいと思います。会員の皆様、これからもどうぞよろしくお願い致します。

■ 第41回日本を縦断する映像発表会

3月19日(日)13時より大阪市立中央図書館合大講堂にて行われます。大阪地区からは合原、高瀬の2氏の作品が出品されています。参加申し込みされた方は是非お越しください。よい作品を観ることは自分が作品を作るうえできっと良い刺激になります。

3月13日より政府の見解は自由

“マスク外す、外さない”

新型コロナウイルス感染症が流行りだして3年、マスクすることがほとんど強制化され、今でも公園で散歩する人さえマスク姿という、もう、どこでもマスクをすることが当たり前という感じだったが、政府が3月13日より、マスクは個人の自由、と発表したので、13日以降はマスク無しの人が増えてくると思われる。

各行事会場もマスク着用の強制は無いことが原則となってこよう。

さて、我が大阪ムービーサークルの場合をどうするか。原則として個人の自由を尊重するが、例会場での司会役は、マスク越しの言葉は聞き取りにくいので、はずすようにしたい。



人の会話や司会の言葉は、口の動きを見て、何を言っているかが理解しやすいのである。従って司会者は、マスク無しで司会して頂きたい。

二次会での会話もマスクなしを原則としたいが、人によっては花粉症対策も含めてマスクを着けたい人もいると思うので、それぞれで尊重したい。撮影会の場合、ほとんど屋外なので必要ないと思う。公開映写会の場合、観客にマスク着用を呼びかけることはやめたい。もっとも大阪市立中央図書館の会場では、図書館側の意向如何に依るが。

長い間、半ば習慣的に外へ出る時は必ずマスクをしていくのが当たり前になっていたのに、果たしてスパッと止められるのか、という気持ちもあり、複雑な気持ちである。

(会長 合原一夫)

■ 懐かしの映像を楽しむ会の実施に向けて

コロナ禍で中断中の「懐かしの映像を楽しむ会」を、今年は若干衣替えをして実施したい。時期は7月16日～23日あたりの日曜はどうだろう。会場は岡本副会長の推薦で東大阪市布施駅前前のホールが低額で借りられそうだ。作品が集まるか不安なので今回は第1部と2部に一人2作品を受け付けたいと思っている。これから細部を詰める。

2月通常例会レポート

通常例会は第4土曜日25日18時より難波市民学習センターにて開催。13名の会員諸氏の集まりと12本の作品が上映された。朝夕まだ冷え込む季節だが、寒さも今月の例会が最後だろう。休憩の後中川氏より一泊撮影会の件が資料配布と共に説明があった。来月第2例会日に申込受付との事。

■ 運営担当：司会 合原、書記 岡本、YouTube 関係 中川、映写 坪井、中川記録 江村、受け付け照明 宮崎、大久保の各氏

■ 出席者：岩井、江村、岡本、大久保、上総、合原、高田、高瀬、鉄具、坪井、中川、宮崎、森下、山本の13氏 関氏は作品参加

上映作品（今月書記は岡本氏）

1、延命寺と鬼伝説 BD

中川良三 11分29秒

(作者コメント) 河内長野市にある延命寺にまつわる鬼伝説について。近くに鬼住橋とか鬼の盥等、鬼と名前の付く名所があり気になり調べると意外な所、父鬼街道沿いにも鬼に関する言い伝えがあることが判ったので、編集してみました。

(書記コメント) 作者のお住いである河内長野市に広大な土地に延命寺がある。寺伝によれば、弘法大師が当地に巡錫の際、地蔵菩薩を安置されたのが始まりとされている。江戸時代に当地に誕生された上巖和尚が中興されたと伝えられている。寺宝に「兜率天内院曼荼羅」

「清涼寺式釈迦如来立像」の国指定重要文化財がある。それらを隈なく撮影されている。弘法大師のお手植えとされる「夕照の楓」は天然記念物で樹齢約1000年だそうだ。夕日に映える姿が美しい。また、延命寺から12kmほどの西南西に、かつてこの地には鬼が住んでいたとされる父鬼村がある。鬼伝説を詳しく解説された作品となっている。ただ、カメラが360°のカメラであるため違和感を感じる。実映像の方が重量感の作品になると思う。紅葉シーズンには、是非訪れてみたいところです。



2、鴨高田 BD

江村一郎

7分30秒

(作者コメント) 古代豪族の鴨氏がこのあたりに居住し、その祖神を祀ったのが始まりという古社である。古代大和川の本流(現:長瀬川)の西岸にあたるのが鴨高田神社。JR、近鉄の交差する永和駅の近く。コロナ禍前の2017年に行われた胡麻焚きを岡本会員と撮ったものですが、そのままでは面白くないので今年の正月風景と対比する意味もあって再編集した。



(書記コメント) この作品は、書記(岡本)の近隣に鎮座する鴨高田神社内にお祭りされている「鴨稲荷護摩焚神事」稲荷祭の様子を撮影されたものです。撮影は、コロナ前に撮影されたものに今年の正月風景と対比してみたと言明されている。このお祭りは、毎年3月におこなわれているもので、正月風景とくみあわせるのは少し無理があるように思う。しかし、作者の画像には定評があるので、神社の年間行事と組み合わせた作品とすればすばらしい作品になると思います。タイトルは、「鴨稲荷護摩焚神事」とした方がいいのではと思います。

3、神も仏も

BD

上総秀隆

17分17秒

(作者コメント) 高野山真言宗が例年行う特別伝道大会をホールで行う慣例に従わず住吉大社で行いたいと考えた僧侶がいる。神社の協力を得て百五十年ぶりの神仏合同法要が実現した。



(書記コメント) この作品は、前回例会に出品されたものを更に詳しく再編集されたものです。関係者に依頼された記録映像としてはりっぱな記録映像となっています。インタビューも入れられてうまく仕上がっています。依頼された映像は、なかなか編集が難しいものです。関係者には大変喜ばれたことでしょう。

4、化野念仏寺雪景

BD

高瀬辰雄

7分45秒

(作者コメント) 2月21日、京都に雪が降った朝、奥嵯峨の化野念仏寺を訪れました。9時の開門と同時に入りましたが、2時間ほど撮影している間、出会ったのは数人だけ、石仏で有名な寺院ですが、ほぼ貸切状態でした。しかし石堀内での撮影は禁止のため、カメラポジションに苦心しました。



(書記コメント) 深々と雪が降る京都化野念仏寺、奥嵯峨撮影行です。晩冬のモノトーンの映像がBGMと合わせたいい作品に仕上がっています。ですが、夏の映像が突然映ります。何か違和感を感じます。入れたい思いはわかりますので、ほかすとかもう少し工夫されるといいのではないかと思います。

5、源氏物語花の庭

BD

高田幸夫

7分

(作者コメント) 昨年の春に撮った作品です。天気が良かったので気の向くままに、京都市南宮へ梅を撮りに行って来ました。



(書記コメント) 京都市南宮は、平安遷都の祭、都の南に国の守護神として創建された古い神社で、方除(ほうよけ)の神として信仰を集めている。社殿

は平安調に統一された優美な姿を見せる。城南離宮の庭と趣向が凝らされた庭園「楽水園」は、源氏物語の庭とも呼ばれ、小川に杯を流し和歌を詠み御酒を頂く「曲水の宴」が春と秋に行われる優雅な行事は古都の風物詩となっている。春はしだれ梅と椿に彩られ多くの人で賑わう。作者はこの季節に訪れて庭園を隈なく撮影されている。BGM がこの庭園にあった曲にされた方が良かったと思います。途中で、太鼓の音に合わせて画像を変化させている技法はいらないと思います。庭園の美しさをうまく表現されていました。

6、ビデオスケッチ 2023.2.23 BD

坪井仁志 1分36秒

(作者コメント) 作品と言える程ではありません。停泊中と聞いて近くなので行ってみました。アメリカの強襲揚陸艦、その名も「アメリカ」艦載機、生のF35B 初めて見ました！ スマホでチョチョイと撮っただけのメモ代わりの動画と写真を並べただけのビデオスケッチ



(書記コメント) 坪井流映像作品、なかなか見られない作品を楽しませていただきました。

7、大宰府と筑紫歌壇 BD

鉄具嘉夫 1分28秒

(作者コメント) 663年朝鮮半島で新羅と唐の連合軍と戦いましたが大敗しました。それから大宰府が重要な土地となり、文化も発展しました。梅花の宴が催されましたが、令和の語源となった歌がうたわれました。



(書記コメント) 作者お得意の万葉文学を題材にした映像を拝見いたしました。奈良時代の初めの神亀年間から天平年間にかけての数年、大宰府には太宰師大伴旅人や筑前国山上憶良などの人々が会し、「万葉集」に数々の歌を残しました。それを後の人が称して「筑紫花壇」と言われたとネットにありました。

新年号「令和」とは、「大化」(645年)以後248番目で「万葉集」の梅花の歌32首の序文から引用されたと解説されています。素晴らしい作品を拝見しました。

8、手品 BD

宮崎紀代子 9分10秒

(作者コメント) 老人会のクリスマス会には、毎月お世話をしているスタッフが総動員して演劇などを演じている。コロナ禍の為に2年振りに復活した。その二部の手品を見てください。



(書記コメント) この作品は、地元の老人会の様子を撮影されたものですが、出演者の手品をされている場面のみ映像になっています。作品にするならば、お世話している方々の様子とか、見ている方の表情などをいれられて楽しかったという作品にすればよくなると思います。またインタビューなどもいれられてはどうでしょうか。

9、あまの街道・冬 BD

山本正夢 10分20秒

(作者コメント) 10年ぶりの寒波という事で雪景色を期待し行きましたが期待外れでした。

(書記コメント)



作者の山本さんの街道シリーズはまだ続きます。今回は、天野街道です。あまの街道は、西高野街道と堺市岩室で分岐して「女人高野」ともいわれる天野山金剛寺へと向かう信仰の道です。一説には、天野街道の起点は、岩室山観音寺の大門からで、終点が、天野山金剛寺山門と言われる。そのルートを撮影されました。しかし、作者は詳しくよく調べられました。ご苦労様です。

10、友ヶ島情話

BD

岡本至弘

5分10秒

(作者コメント) 昨年の課題コンテスト作品を再編集しました。歌謡映画に歌詞をつけてみました。こんな作品は、フィルム時代にはよく流行ったものです。歌っている歌手は、私の故郷出身の歌手さんです。お遊びで作ってみました。



11、湖北路

DVD

合原一夫

12分

(作者コメント) 今から49年前の余呉の雪景色。今は見られない「稲架杭」が懐かしい。稲架杭とは稲の収穫時に、稲わらを干すための仕掛けで、杭と横に架ける竿と成るもので、余呉の風景でもあった。余呉は、琵琶湖とはひと味違った神秘的な魅力がある。この作品は、寝屋川に住んでいた頃の寝屋川8ミリラブの有志と車で一泊撮影に出かけたときの映像である。8ミリフィルム作品、昭和49年(1974年)2月撮影



(書記コメント) 1974年(昭和49年)に作られたフィルム作品。豪雪の奥琵琶湖を訪ねられたもの。フィルムの奥深い色合いが健在だ。当時の面影が懐かしい。

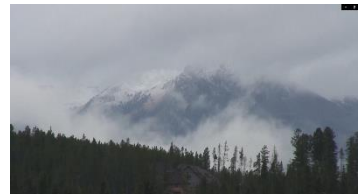
12、カナディアンロッキー・バンフ国立公園

BD

関剛

8分

(作者コメント) カナディアンロッキーは、バスで移動して大きな湖があるところで休憩しますが、三日間も荒涼とした山の中を移動していると、どこもみんな同じように見えてきます。映像で場所を特徴づけるのが難しいですね。この「バンフ」で私のロッキーの旅は終わりますが、最後に大失敗をやりました。バスから降りる際、予備のテープ(当時はまだHDV)を持って出るのを忘れました。気が付けばカメラのテープの残りはあと10秒ほど。バスは遠くの駐車場へ走り去ったあとで、結局この作品は尻切れトンボ。みすばらしい作品になってしまいました。



(書記コメント) 関作品、カナディアンロッキーシリーズ第3作目「バンフ国立公園」です。バンフ国立公園は、アメリカのイエロー・ストーン国立公園、オーストラリアのロイヤル国立公園に次いで3番目に古い歴史ある国立公園です。残雪の美しい湖や自然が画面いっぱい映し出されて魅力たっぷりの作品を拝見しました。欲は、ナレーションかテロップがあればもっと良かったと思いました。尻切れトンボは残念ですね。